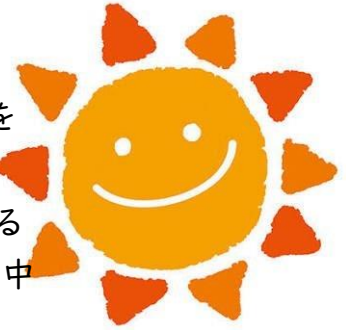


昨年、「住み慣れた私たちの町、うちのご近所は、一体、どう変わっていくのか」「ずっと、ここに住み続けるには、どうしたら良いだろうか」など皆さんと考える機会を設けてみました。その結果「それぞれの地域における、お互い様の関係性が大切。」「地域に1人でも多く“太陽”のような存在を増やそう!」「自分が、その太陽になるには?」という話題が。浦河町の高齢化(65歳以上)率は、32.5%程ですが、その中には、年齢にとらわれず元気に地域で活躍されている方も多数おられます。



今回は、地域で無理なく可能な範囲で誰かを支え、誰かに支えられる「お互い様の関係性」について一歩踏み込んで、「ゴミ出しが困難になった高齢者の方などの支援・応援の方法について」などをみなさんと考えてみようと思います。

講演

「ささいなコトでも ささえ合えるマチ」

～ みんな 誰かのために 役立つ力を持っている! ～

函館市地域交流まちづくりセンター長、函館市生活支援コーディネーター

丸 藤 競 (まるふじ きそお) 氏

※裏面参照

開催日時 2019年 **11月9日(土)** 午後1:00～3:30

開催場所 浦河町総合文化会館 3階 ふれあいホール

参加費用 無 料

申込期日 2019年10月31日(水)までに下記へ

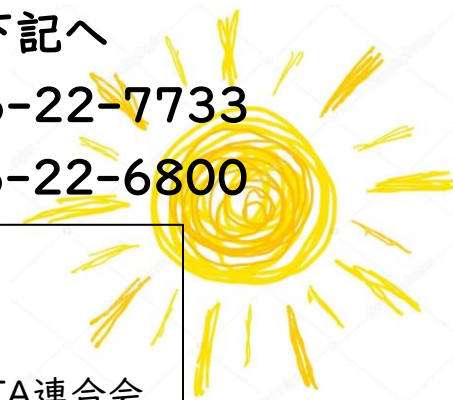
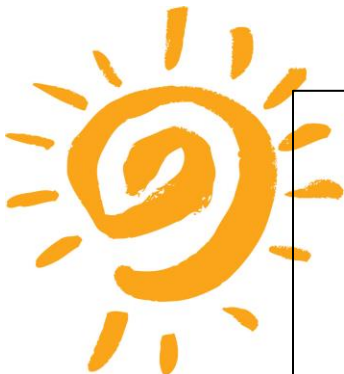
浦河町地域包括支援センター ☎ 0146-22-7733

浦河町社会福祉協議会 ☎ 0146-22-6800

〔主 催〕 浦河町

〔共 催〕 浦河町社会福祉協議会

〔後 援〕 浦河町自治会連絡協議会、浦河町PTA連合会、
浦河町老人クラブ連合会



講師のご紹介



丸藤 競（まるふじ きそお）

1964 年札幌市生まれ

座右の銘

「毎日、笑ってもらいたい」「本寸法でいこう」

個人活動歴

函館市生活支援コーディネーター（1 層）

函館地域交流まちづくりセンター長

函館市青年センター理事長

函館コミュニティプラザ G スクエア理事長、NPO 法人 NPO サポートはこだて事務局長、
FM いるか『週刊まち日和』パーソナリティ、元北海道教育大学函館校非常勤講師、
函館大谷短期大学非常勤講師、シーニックパ イウェイ北海道函館・大沼・噴火湾ルート副会長、
函館の教育を考える会理事、NPO 法人函館市青年サークル協議会理事長、
元函館市福祉実践計画推進委員、函館市社会福祉協議会評議員、
函館市文化スポーツ振興財団評議員（2003～）
函館市住宅都市施設公社評議員（2000～）
元函館市社会教育委員長（2010～）
元函館市観光アドバイザー
元函館市都市計画策定懇談会副座長
元函館市自治基本条例策定委員
被災者支援函館むすびば代表
函館市明るい選挙推進協議会会長
「わが村は美しく 北海道」運動 道南ブロック
審査委員長
元 NHK 北海道地方番組審議会委員

